

第11回

PMDA RS研究会

1/28 WED
2026

WEB開催
13:00~17:00
参加費無料

臨床開発におけるM&Sの可能性について
RSの視点から考える

PMDAでは、職員が実施するレギュラトリーサイエンス研究に対する理解を深めていただくため、外部有識者や論文著者による講演と意見交換を行うRS研究会を開催しております。

13:00

開会の挨拶

宇山 佳明[執行役員(研究部門担当)]

13:05

講演① PMDA研究発表

14:25

1. ICH M15での医薬品開発におけるM&Sの利用の考え方
岩田 大祐(新薬審査第一部)
2. 日本におけるModel-informed Drug Development (MIDD): 規制当局の視点から
木島 慎一(新薬審査第五部)
3. 医薬品開発における時間再配置型の疾患進行モデルの可能性
吉岡 英樹(新薬審査第二部/RS研究部)
4. MABELの先を行く統合的アプローチ
松本 峰男(新薬審査第五部)

14:35

講演②: 外部有識者講演

15:35

1. M&Sを活用した小児薬物治療の個別最適化
水野 知行(Division of Translational and Clinical Pharmacology,
Cincinnati Children's Hospital Medical Center /
京都大学大学院医学系研究科 ファーマコメトリクス・システム薬理学)
2. 医薬品開発におけるPBBM研究の現状と課題
上林 敦(東京理科大学 薬学部)
3. 医薬品開発におけるQSPモデルの活用 - 調査結果と事例について -
長谷川 千尋(日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 データサイエンス部会)

15:50

パネルディスカッション(総合討論)

16:55

座長: 河野 陽一(新薬審査第一部長)
パネリスト: 講演者全員

16:55

閉会の挨拶

17:00

小室 美子(研究管理部長)



参加をご希望の方はこちらから
事前登録をお願いいたします。

受付締切: 1月26日(月)まで

お問い合わせ(研究会事務局)
独立行政法人医薬品医療機器総合機構
レギュラトリーサイエンスセンター
研究管理部
rs-research-toiawase@pmda.go.jp

URL: https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_k65IIYTOReW9ihxVRNIRDg

PMDA
健やかに生きる世界を、ともに